事務事業の目 的、対象、内 容を考えなが

ら目的妥当性の評価を行っ て下さい。

		事	務事業の)概要	要(Pla	an)							
事務事業名	人村	在啓発推進団体活動支援	事業		担当部作成者		市民語 北森-	. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	電話	0826 (42)5630			
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 28	年 3 ,	月		会計名		一般会計					
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちて	づくり		主な	款	3	民生費					
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされる地域を	ナーの創生		関連	項	1	社会福祉費					
(基本計画)	工女心尔	1.人権が人別に合作る地域を	ユ云の別垣		予算・ 事業名		6	人権推進費					
体系	施策	推進体制の整備			争未行	大事業	1	人権推進費					
	旭水	在定体的の差備				中事業	1	人権推進事業費					
対 象 (誰のために)	人権啓発推議												
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	自主活動の	舌性化を図る											
内 容	各団体の活動 ①市民を対象	権啓発活動団体や女性団体への活動費の一部補助を行う。 団体の活動内容 市民を対象した人権啓発活動②市民を対象とした学習会、人権講演会の開催。③人権擁護に係る啓発活動(人権の花運動 ど)④会員を対象とした研修活動など											

						事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
				24	年度			2	5年度				20	6年度		事業単位当たり
	スト	コスト	~ (千円))	財源	(千円)		スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト (千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	5,8	804	国県補助金等		直接事業	5,780	国県補助金等			直接事業費	5,803	国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
ん	/プット	人件費	1,3	34	受益者負担		人件	費 1,652	受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
*		合計	7,1	138	一般財源等	7,13	3 合計	7,432	一般財源等		7,432	合計	5,803	一般財源等	5,803	
必要	要人員		C).15		人		0.1	5		人		0.15	j	人	
時間外	勤務手当		77	7.00)	千円		59.0	0		千円				千円	
		指標	票名 等	等		24年度		25年度	26年	度	今後の記 (計画)		(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	汗計	支援団体	一米 万	単位	立計画値	3.00		4.00	4.00)	4.0	00	4団体 40		145千円	事務事業の目
	/口到	又吸凹件	2 5 X	団体	本 実績値	3.00		3.00	_		H28	年度	1700千円	70十円		的やその数値 目標である成
			1 年上	七		_		100.00%	_							目標である成 果指標などに
		⊐	ス	1			円	円		円						留意しながら
		単位当な	こりコスト	_			円	円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活				単位												۷۱۰
動				<u> </u>	実績値				_			年度				
•			5 年 上			_			_							Į
結果			ス	<u> </u>			円	円		円						
指		単位当は	こりコスト	_	+ = ==+		円	円	_	円						l
標				毕1	立 計画値 実績値				_			左连				
		対 前	立 1 年 比		夫禎旭	_			_			年度				
741			<u>リート</u> ス	<u>ب</u>			円	円		円						
アウト プット			<u>^</u> =りコスト				田	円 	_	円						
()		TIE 27		単位	立計画値		1 3	1,1		1 3						1
					実績値				_			年度				
				単位	立計画値											1
					実績値				_			年度				
_1		指	標名			24年度		25年度	26年	度	目標		(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
成果	1 🗆 /+ +	ヒヒハグ	771	単位	立計画値	1,592,000.	00	1,592,000.00	1,592,00	0.00	1,592,0	00.00	(補助金総額	頭) 6,210	O千円÷(交	1
指		あたりの:	コスト	円	実績値	1,923,000.	00	1,552,000.00	_		H28	年度	付団体総数)	4団体		
標				単位	立計画値											1
アウト					実績値				_			年度				J
加		指標化で	できない原	或果												

	事務事業の評価	<u></u> (С	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	人権尊重のまち「人輝く・安芸高田」を実現させるためには、
	市民のニーズが適正に反映されている	0	人権問題を社会全体の問題として捉える必要がある。そのため には、行政はもとより、ひとりひとりの市民や地域や、学校、
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	企業、NPO団体などとお互いに協働し啓発に取り組むことが重
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	要である。本事業は、その活動を支援するために行っている。
羿	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	<u> </u>	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	X	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	各団体の財源の効率的使用を指導している。
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	各団体は人権に関する、専門性の高いエキスパート、市民連合
	当初予定した実施項目が達成できた	0	組織であり、その経験と能力は高い。 市民から寄せられる人権問題の解決に関しても、行政のみだけ
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	では行う事が出来ない当事者へのケアを含めて行うことができ
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	る。また、人権啓発についても共同して行っており事業効果が 高い。
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	各団体で市民で構成されているため、市民参加の度合いは強い。
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

		改善点や今後の取	り組みの方向性(Ad	ction)	
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	継続する 休止、廃止をする	● 縮小して継続する完了した	主務課長氏名	野川 栄治
	今年度までに実施した改善			解決できてい	ない課題
第2次補助金整理合 行った。	理化ブランに基づいて各	団体に通知・協議を			
		課題解決のため	の改善内容及び予算への限	支映	
	改善項目		予算(大事業)名	改善に	より予算要求額変更内容
1					
2					
3					

事務事業の目

的、対象、内

容を考えなが

ら目的妥当性

の評価を行っ て下さい。

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

事務事業の目的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

		事務事業の	ク根	要(Pla	an)									
事務事業名	人格	至会館管理運営事業(吉田)		担当部作成者		吉田。中田	人 <mark>権会館</mark> 義和	電話	0826 (42)2826					
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 28 年 3	月		会計名		一般会計		(12)2020					
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり		きた	款	3	民生費							
総合計画	主而 佐竺	4 トケがナヤル・ナヤフサボナクの会場	_	主な 関連	項	1	社会福祉費							
(基本計画)	土安肥宋	主要施策 1.人権が大切にされる地域社会の創造 7 9												
体系	施策	推進体制の整備		争耒石	大事業	1	人権会館管理運営費							
	ル 宋	在连体则の差開			中事業	3	吉田人権会館							
対 (誰のために)	○啓発対象で	市民及び施設利用者												
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	○同和問題を		の事	業や、啓										
内 容	○施設の維持 ○行政・各種	の同和問題をはじめとしたあらゆる人権課題解決の事業や、啓発活動により人権意識向上を図る。 の同和問題をはじめとしたあらゆる人権課題解決の事業や、啓発活動により人権意識向上を図る。 の他の機関と連携して、館の管理・運営・活動について協議し、企画・執行する。 の施設の維持管理・修繕を行い、施設の安全快適利用を確保し、年間359日(9:00~22:00)の利用を維持する。 の行政・各種団体へ利用の誘致・調整や、夜間・休日管理委託を行って利用拡大など、目的達成の施設管理を行う。 の教養文化活動等地域住民の交流の場として広く利用していただく。												

						事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do	<u>(</u>)				
			,	24 [±]	F度			2	5年度				26	6年度	
⊐	スト	コスト	(千円)			(千円)	زد	スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)		(千円)
		直接事業費	2,64	5 ■	具補助金等	2,545	直接事業	3,041	国県補助金等		2,553	直接事業費	2,730	国県補助金等	2,238
イン	_゚ ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費	2,92	6 受	益者負担	43	人件	費 2,804	受益者負担		51	人件費	2,804	受益者負担	51
		合計	- /		般財源等	2,983	合計	•	一般財源等		3,241	合計	- /	一般財源等	3,245
	要人員		0.3			人		0.35			人		0.35		人
時間外	勤務手当		33.	.00		千円	Щ	17.0	U		千円		17.00		千円
		指標	名 等			24年度		25年度	26年度		今後の (計画	計画値年度)	(指標の語	備 考計算方法、	算式等)
	館の3	正べ利用者	5坐7	単位	計画値	5,000.00		5,000.00	5,000.	00	5,000	0.00	利用者実数値	直。	
	ДП«ЭХ	= ~13/13/2		人	実績値	4,185.00		4,414.00	_		H27	年度			
		対前				_		105.47%	_						
		単位当たりコスト①			2,531,000	円	2,584,000 円		円						
	_	単位 計画		=1.77.#	604.78	円	585.41 円	- 250.0	円	250	0.0	年士年払去り		可能にす	
活	館の	館の開館日数 日 実績値			359.00		359.00	359.0	0	359	/T ===	──年末年始を除き、利用 る。			
動		前 校	年比		実績値	359.00		359.00 100.00%	_		H27 年度		年間359日 (9:00~		~22:00)
• 幺 =				<u> </u>		5,571,000	円	5,187,000 円		円					4
結果指			へ りコスト	_		15,518.11	1.4	14,448.47 円	_	円					
指		+ <u>⊞</u> _/€		単位	計画値	13,310.11	1 1	11,110.17	1.1						
標			F	<u> </u>	実績値				_			年度			
,		対 前	年 比			_			_						
アウト			ス	-			円	円		円					
プット		単位当た	りコスト	3			円	円	_	円					
``				単位	計画値										
					実績値				_			年度			
			!	単位	計画値										
					実績値				_			年度			
ь¢		指	標名			24年度		25年度	26年	度	目標	年度)		備考 計算方法、	
果	日あたり)施設利用	者数	単位	計画値	14.00		14.00	14.00)	14.		利用者数/和日)	划用可能日	数(359
成果指標	_ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	3000,1071		人	実績値	11.66		12.30	_		H27				左眼
/ /	人権组	会館利用回]数	単位	計画値	500.00		500.00	500.0	0	500	.00	施設の延べ利	可用回数((年间)
アウト					実績値	425.00		409.00	_		H27	年度			
<i>ከ</i> Δ	指標化できない成果														

事務事業の評価(Check) チェック項目【「はい(改善の必要なし)」ならO、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】 市民のニーズを的確に把握している ○ ○ ○ 人権啓発、相談事業を始めとして、地域福祉等に関する総合 的な事業、同和問題をはじめ様々な人権問題に対する理解を深 市民のニーズが適正に反映されている 0 める事業を行う。 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である ○地域づくりの拠点施設として総合的な活動を行う。 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 性 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 0 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ○人権啓発事業を始め、地域文化福祉向上・交流事業、総合相 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 談所開設事業など、多機能な運営で目的事業の効率を高めてい コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 受益者負担を検証している 0 事務事業の効果を適正に把握している 〇主催人権講座、研修会・交流会などが定着し、福祉・啓発団 \bigcirc 体等利用者の自主講座・研修会の開催も行われている。 当初予定した実施項目が達成できた 0 〇小規模施設の利点を生かして、相談者が来館しやすい環境づ 成果指標について当初設定した計画値が達成できた X くりをめざしている。 ○駐車場のスペースの関係で、研修会や文化祭開催時の駐車場 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した の確保が課題である。(駐車場を借りる機関の行事との調整が 目標年度に目標を達成できそうである 必要である。) 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 性 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 0 職員の能力開発のための対策は十分になされている X ○館の利用計画を策定するにあたり、定期利用団体と連携協議 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている を行っている。 市民への情報提供を行っている 0 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

		改善点や今後	の取り	組みの方向性(Act	tion)	
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		きする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治
4	今年度までに実施した改	善内容		•		ていない課題
○会館設備の修繕を 持を行っている。	こしながら、施設の機能に	可上と安全快適施	設の維	○館だより等で広報し○専用駐車場の整備。	、館の一層の	の利用促進を行う。
		課題解決の	ための改	善内容及び予算への反	映	
	改善項目		予	算(大事業)名	강	双善により予算要求額変更内容
1						
2						
3						

			事務事業の概	現要(Pla	an)					
事務事業名	人権福祉	センター管理運営事業	(八千代)	担当部			大人権福祉センター	電話	0826 (52)7500	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 2	27 年 3 月	作成者	式石 会計名	道沖郭			(32) /300	
天旭朔囘	基本方針	# 3 月 ~ 平成 2 Ⅲ人と環境にやさしいま			款	3	一版云記			ł
/// A = 1 T	全年/リッ	一人に採売に (でして)	0000	主な 関連	項	1	六二頁			
総合計画 (基本計画)	主要施策	1.人権が大切にされる地域	域社会の創造	予算•		7	人権会館費			
体系				事業名	大事業	1	人権会館運営費			
	施策	推進体制の整備			中事業	4	八千代人権福祉センター			事務事業の目 的、対象、内
対 (誰のために)	管内市民及7	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人								容を考えなが ら目的妥当性 の評価を行っ て下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	○地域の福祉	止交流施設として、利用の	促進や啓発活動	により、	利用者の	の交流	と人権意識の向上を目指す。			
内容		寺管理・修繕を直接ないし は各種団体等の利用の誘致								

						± 267 ± 314 c+ 3	<u>+</u>	<i></i>	1 1 . AUG // -1	(0	,				_	
					Ę	事務事業実	他に	かかるコス	トと業績	(Do)				•	
				24	年度			2	5年度				2	6年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円	3)	財源	(千円)	コス	(十円)	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	1,	,528	国県補助金等	1,401	直接事業實	1,214	国県補助金等		1,401	直接事業費	1,314	国県補助金等	1,401	意しながら効率 性の評価を行っ
イ ン	ノプット	人件費	3	3,313	受益者負担		人件費	2,787	受益者負担			人件費	2,787	受益者負担		て下さい。
		合計		,	一般財源等	3,440	合計	,			2,600	合計	4,101	一般財源等	2,700	
	要人員			0.35		人		0.3	5		人				人	
時間外	勤務手当			2.70		千円					千円				千円	
		指标	漂 名	等		24年度		25年度	26年	度	今後の(計画			備考 計算方法、		
	#	利用者数	I	単位		9,000.00		9,000.00	9,000.	00	9,000		八千代図書館		諸を含む -200名が	事務事業の目
				人	実績値	8,967.00		11,941.00	_		H27	年度	2回利用する			的やその数値 目標である成
				比		-	133.17% —						果指標などに			
						2,600,000	7 77									留意しながら 有効性の評価
				289.95	円	17.59 円	— 円 358.00		利田中口の		コのちっち		を行って下さ			
活	₹	利用日数 単位 計画値 358.00							1107	左	利用申し込みのあった日数 (計画値は休館日を除いた全日			ل _ا اه		
動		対首	前年	比比	実績値	301.00		293.00 — H2 97.34% —			H27	年 及	数)			
• 結			<u>サー</u>	<u>и</u>		2,600,000	ш									,
果			<u>へ</u> たりコス			8,637.87		7,167.24 円	_	- 円						
指揮		TIE	C) _ / .	単位	立 計画値	0,037.07	1 3	7,107.21 1		1.3						
標					実績値				_			年度				
,		対前	前年	比		_			_							
アウト		⊐	ス	+			円	円		円						
プット		単位当為	たりコス	スト③			円	円	_	円						
`				単位	立計画値											
					実績値				_			年度				
				単位												
					実績値				_			年度				
成		指	1 標 名 24年度			25年度	26年	度	目標			備考 計算方法、				
果指	旃	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	壑	単位		100.00					70.		予約のあった	に日÷開館	日数	
指標	,,,		•	%		66.55					H27	1.54	左明利而去	¥h • 88¢≏.□	坐力	
/崇 ,	1日あ	あたり利用者数 		26.00			26.		年間利用者	以一開館日	1					
アウト		, ,				33.35	-	5 > / L ·	H27		部分まちる					
<i>ከ</i> ᠘		指標化できない成果						うパネル展示の閲覧者は、カウントできていない部分もある。								

	事務事業の評	曲 (C	check)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	乳幼児の利用もあり、特定の部屋だけでなく、全館にわたって
	市民のニーズが適正に反映されている	0	安全性のチェックが必要である。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
巠	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	施設の使用や利用者のニーズを理解し、効率よく利用していた
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	だくためには、日々の地道な清掃等の管理が必要である。 トイレの入り口には「節電にご協力ください」との貼紙をした
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	り、電気の消し忘れがあった利用者には、以降気をつけてもら
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	うよう注意を促している。
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
	単位あたりコストを削減することはできない	_	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	築10年で、比較的新しい施設でもあるが、使いやすいとの高
	当初予定した実施項目が達成できた	0	評価を得ている。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	_	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	利用者による会場使用後の清掃をお願いしている。
市	市民への情報提供を行っている	_	センターで行われる活動を「人権カレンダー」に掲載している。
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

		改善点や今	後の取り	組みの方向性(A	ction)	
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		をする	縮小して継続する 完了した	3 主務課長氏名	野川 栄治
:	今年度までに実施した改善	善内容			解決でき	ていない課題
		課題解決	のための改	で善内容及び予算への	反映	
	改善項目		予	算(大事業)名	5	女善により予算要求額変更内容
1						
2						
3						

			事務事	業の概	既要(Pla	an)						
事務事業名	人格	至会館管理運営事業	(高宮)		担当等		たかる八島が	みや人権会館	電話	0826 (57)1330		
実施期間	61	4 月~	27	3 月		会計名	1	一般会計				
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさし	いまちづくり		主な	款	3	民生費				
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされる	ろ地域社会の値	創浩	関連	項	1	社会福祉費				
(基本計画)	工女儿以来	1.八個分入場合と16	DIGINIT TO A		予算・ 事業名	Ħ	7	人権会館費				
体系	施策	推進体制の整備			尹未口	大事業	1	人権会館運営費			事務事業の目	
						中事業	5	たかみや人権会館			的、対象、内	
対 象 (誰のために)	施設利用中国	民•担当職員									容を考えなから目的妥当性の評価を行って下さい。	
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	人権活動の扱	処点として、市民の学	習・交流の機	会と場	所の提供	を行う	為、快	:適に利用してもらう環境を作	Fる。			
内 容	会館を開放し	会館を開放し、いつでも市民が快適に利用できる環境をつくる。 開館時間は、8時30分から22時まで。										

					<u> </u>	主 終車業宝	施に	かかるコス	トと業績	(D	2)					
						尹切尹未入	ا تا تا تا				<i>J)</i>					
				24í	年度			2	5年度					6年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円)			(千円)	_	(十円)		(千円)	コス	ト (千円)		(千円)	コストなどに留 意しながら効率
,		直接事業費	- /-	_	県補助金等	1,975		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	国県補助金等		1,819			国県補助金等	1,838	性の評価を行っ
イン	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費			益者負担		人件費		受益者負担			人件費	,	受益者負担		て下さい。
		合計	5,86		-般財源等	3,889	合計	•	一般財源等		3,275	合計	5,195		3,357	
	要人員			30		人	0.3				人		0.30)	人	
時間外	勤務手当		68	.00		千円		62.0	0		千円		Ŧ			
	指標名等		指標名等			24年度		25年度	26年度		今後の計画値 (計画年度)			備 考計算方法、	算式等)	
	館の管	III • ¥IIF	日老物	単位	計画値	7,000.00		7,000.00	7,000.	00	7,00	0.00	コスト/利用のロボス		-+/=t/\+n>	事務事業の目
	KL V/E	館の管理・利用者数 人 実績値			実績値	8,579.00		7,734.00	_		H27	年度	開朗日数36 き利用可能		末年始を除	的やその数値 目標である成
	対 前 年 比			-		90.15%	_				0 137 3 3130.	- 5 0 /		果指標などに		
	コスト			2,172,888	円	2,173,062 円		円						留意しながら		
	<u>!</u>	単位当たりコスト①			253.28	円	280.98 円	_	円						有効性の評価 を行って下さ	
活	館の維持			館の維持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				_	_		_	_	会館維持経	貴		W).
動		F			実績値	3,540,043.0	, ,		_		H27	年度				
•			前年比			_		80.93%	_							, ,
結果指		コスト					円 円			円						
未 指		単位当為	当たりコスト②			円		- [
標			-	単位									:			
			 	-	実績値				_		年度					
()			<u> </u>			_			_							
アウトフット		₩₩₩#	ス たりコスト	<u>ト</u>			円円	円円		円円						
	-	単11131		·⑤ 単位	計画値		円	円	_	円						
			F	半四	実績値				_			年度				
			-	単位								十尺				
			F	+ III	実績値				_			年度				
		指	標名		八师兴园	24年度		25年度	26年	度	目標	票値	(指揮の)	備考計算方法、	質式等)	
成				744 I-T	- 1.75.H								コスト/稼			
果	館	のコスト	-	単位		15.060.00		12 004 00	_				コムト/ 修!	判□奴ろ♡		
指標				円	実績値	15,869.00		13,994.00	_		H2/	年度				
/示 			-	単位					_			左曲				
アウト					実績値				_			年度				
<u></u> አለ																

	事務事業の評	⊞ (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	X	地域改善事業(隣保館運営事業)に基づいて事業実施。
	市民のニーズが適正に反映されている	X	市民のニーズにより、内容を検討しながら、予算化し対応しているが、全ての要望には限界もあるため、内容を検討し慎重に
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	行う必要がある。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	会館を適正に維持管理することで、修繕箇所を少なくしも素早
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	い対応により、経費節減に繋げるように留意している。 利用者数が増えれば、自然と維持経費が増となる。財政負担の
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	軽減のため、受益者負担を考える時期である。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	しかし、基本は、利用者してもらうことで、啓発の一環となっ ていることも事実であり、単純な受益者負担の導入には慎重に
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	ていることも事実であり、単純な支血有負担の等人には慎重に行う必要がある。
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	X	会館の適正な維持管理に心がける。
	当初予定した実施項目が達成できた	X	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	×	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

	改善点や今後の取り	組みの方向性(Act	tion)						
資源配分の方向性 優先的に継続する 地事業と統合する		縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治					
今年度までに実施した改善	善内容	解決できていない課題							
	課題解決のための記	改善内容及び予算への反	· • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
改善項目	ਤੋਂ	算(大事業)名	改善に	より予算要求額変更内容					
1									
2									
3									

										i			
	事務事業の概要(Plan)												
事務事業名	人村	全 会館管理運営事業(甲田)		担当部	担当部課甲田人権会館			電話	0826				
			作成者		玉本賢		(45)4922]					
実施期間	昭和 58	年 7 月 ~ 平成 27 年 3		会計名	1	一般会計							
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり		主な	款	3	民生費						
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされる地域社会の創	訓浩	関連	項	1	社会福祉費						
(基本計画)	工文ルの米	T. NIEB / COSTC C1 TO JEIST IL ZOSTE		予算• 事業名		7	人権会館費						
体系	施策	推進体制の整備		尹未包	大事業	1	人権会館管理運営費			事務事業の			
		正に体制の主備		中事業	6	甲田人権会館			的、対象、				
対 象	甲田地域住民	民及び施設利用者並びに職員								容を考えなら目的妥当			
刈 (誰のために)										の評価を行			
										て下さい。			
目的		,住民交流の拠点として利用を促進 業・福祉・教養文化事業を通じて市						まの向 ト	- た図ス				
(対象をどのような	八唯合光争	未・佃位・教長文化争未を通して印	内义 测	で促進し		対がで	.休め、八性の寻里し八惟忌品	ないコロエ	_で図る。				
状態にしたいか)													
隣保事業(社会調査研究・相談・啓発広報・地域交流・福祉事業)の企画・運営・執行。 施設の維持管理・修繕を行い快適に利用できる状態を確保する。													
内 容	開館時間8:	音注・修繕を1JV1快週に利用できる: :30~17:15 夜間利用17:1	小忠で 5~2	22:00	。 休館日	±•⊨	・祝日・年末年始 使用*	以有					
										\			

	事務事業実施にかかるコストと業績(Do) 24年度 25年度 26年度 26年度																		
			2	4年度	ŧ,			2	5年度				26	6年度		事業単位当たり			
Ξ	スト	コスト(オ	一円)		財源	(千円)	コス	スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留			
		直接事業費	2,052	国県補	助金等	2,870	直接事業	2,344	国県補助金等		2,870	直接事業費	18,286	国県補助金等	17,409	意しながら効率 性の評価を行っ			
化	ノプット	人件費	2,479	受益者	者負担	19	人件費	1,604	受益者負担			人件費	2,462	受益者負担		て下さい。			
*********		合計	4,531	一般則	財源等	1,642	合計	3,948	一般財源等	一般財源等 1,078		合計	20,748	一般財源等	3,339				
必	要人員		0.2	5		人		0.25							人				
诗間外	勤務手当	44.00				千円		12.0	0		千円			千円					
		指標名	3 等			24年度		25年度				計画値 (指標の計算方法、算式等)							
	命	窓の利用老物			館の利用者数単位は計画値			計画値	8,000.00		8,000.00	8,000.	00	8,00	0.00		用回数47		事務事業の目
	KEC	がいい日奴	,	人	実績値	7,474.00		7,713.00	_		H27	年度	利用 夜間利用	月者数7,7° 寺間	13/	的やその数値 目標である成			
		対 前 年	比			_		103.20%	_				17:15~22:00			果指標などに			
		コ ス			2,612,684	円	2,408,137 円		円						留意しながら				
		単位当たりこ			349.57	円	312.22 円	_	円						有効性の評価 を行って下さ				
活 動	会會	会館利用日数		官利用日数		計画値	243.00		243.00	243.0	0		3.00 会館利用日数日 開館時間8:30~17:1		17:15	W).			
		対前年比			実績値	282.00		275.00	_		H27	年度	夜間17						
•		対 前 年			2,612,684		97.52%	_							1				
結果		コスト					, ,	2,408,137 円		円									
未指		単位当たりこ		_		9,264.84	円	8,756.86 円	-	円	- 4	2.2	/2 古 上 1 1 2 1 1	th / /==					
標	館の	の維持管理			計画値	56.00		56.00	56.00)	56.		│保守点検回数/年 │ 昇降機5回						
		11 24 F		回	実績値	55.00		55.00	_	– H27		年度	清掃(370					
······		対前年				1.040.561	TTT.	100.00%	_				空調機 事務機器						
/ウト パット		コス	<u> </u>			1,948,561	, ,	1,540,125 円		円円			消防機器 2	_					
		単位当たりこ			十画値	35,428.38 1.00	円	28,002.27 円	1.00	円	1.0	00	誘導灯電池国	∇ハ拗ラ	ガラフ空修				
	館の約	維持修繕箇所			実績値	3.00		2.00	1.00		H27	0.0	理	ハラズル	ハンハ心ツ				
					計画値	1.00		1.00	1.00		1.0		延べ利用回数	数/476	利用可能				
	館の	の利用回数			実績値	1.20		1.32	-		H27	•	日数359		.3,3 3.10				
		指標名				24年度		25年度	26年	度	目標		(指標の	備考計算方法、	算式等)				
成甲		- 15-50 - 1 1	単	位言	十画値	10.00		10.00	10.00)	10.	.00	利用者数7,7	713人/利	用可能日数				
果指	日当たり	の施設利用者		人 身	実績値	20.00		21.00	_		H27	年度	359⊟						
標			単	位言	計画値	100.00		100.00	100.0	0	100	0.00	利用日数2	75日/開館	館日数35				
	館	の利用率	9	% 3	実績値	78.55		76.60	_		H27	年度	9日						
アウト カム		指標化できな	ない成果	₹				祉施設、文化 フリー、EV											

	事務事業の評価	⊞ (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	館の目的である人権問題の解決と住民交流の拠点施設として、
	市民のニーズが適正に反映されている	0	啓発事業の取り組みや館の利用促進を行う。 地域住民の生活課題に対応するため、総合相談を担当する人権
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	相談員を配置している。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	×	広く市民が利用できるよう運営し、施設の維持管理を行い快適
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	に利用へのの大部と唯不する。
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	_	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	人権啓発事業・地域福祉文化事業・総合相談事業等、多目的事
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	業の効率を有機的に高めている。 近隣に公民館、福祉施設、文化センターがある中、当館は機能
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	性と利便性が高く小グループの利用効率が高い。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	利用者に「みなし差別」意識があり館の利用を敬遠する風潮が あったが改善傾向にある。
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	のつたが以普頃回にめる。 全室空調から各室単独空調に切り替えたので、利用の仕方を徹
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	×	底する。
	単位あたりコストを削減することはできない	×	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	人権講座、教養文化教室等の定着により、施設の機能性・利便はおいるがある。
	当初予定した実施項目が達成できた	0	性が理解され、参加者の口コミにより福祉・文化団体の利用が 増えている。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	×	施設の利点を生かして、関係機関の相談会に利用されている。
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	人権啓発事業について、人権団体・NPO法人・世界人権宣言
市	市民への情報提供を行っている	0	甲田町実行委員会と連携・協議を行っている。 講演会等において、参加者アンケートを回収し事業計画に反映
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	している。
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

	改善点*	の今後の取り	組みの方同性(Act	tion)						
資源配分の方向性	優先的に継続する ● 継続他事業と統合する 休止、	する . 廃止をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治					
=	年度までに実施した改善内容		解決できていない課題							
			屋根の改修、外壁の改補助事業により改修計		修(屋根の改修は平成26年度国県					
	課題	解決のための は	枚善内容及び予算への反	映						
	改善項目	予	算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容							
1										
2										
3										

共同墓地8か所(吉田中東共同墓地/吉田太郎丸共同墓地/吉田青山共同墓地/吉田宮之城共同墓地/吉田内堀外堀共同墓地/八千代町土師共

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率 性の評価を行っ て下さい。

事務事業の目 的やその数値 目標である成 果指標などに 留意しながら 有効性の評価 を行って下さ

同墓地/八千代町上谷共同墓地/八千代町新宮共同墓地 ※管理根拠法令:安芸高田市共同墓地条例及び規則)の維持管理を行う。

美土里教育集会所(※管理根拠法令:安芸高田市人権会館及び設置条例及び規則) 準基幹集会所4ヵ所(春日中央集会所/市ケ原集会所/福田集会所/竹貞集会所)

(対象をどのような 状態にしたいか)

内

力ム

指標化できない成果

						事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
				24	年度			2:	5年度			26年度				
	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円)	コス	スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト (千円)	財源	(千円)	٦
		直接事業費	2,5	i88 =	国県補助金等		直接事業	1,430	国県補助金等			直接事業費	1,203	国県補助金等		
イン	ノプット	人件費	1,3		受益者負担		人件		受益者負担			人件費		受益者負担		
		合計	<u>'</u>		一般財源等	3,922	合計				2,669	合計	1,203		1,20)3
	要人員			0.15		人		0.15			人		0.15	5	<u>ل</u>	_
時間外	▶勤務手当		7	7.00		千円		44.0	0		千円				千日	4
		指标	漂 名 等	等		24年度		25年度	26年	度		計画値年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	旃		(米ケ	単位	計画値	2,000.00		2,000.00	2,000.	00	2,00	0.00	美土里教育	集会所利用]者数	1
	nea	XYUMB	150	人	実績値	1,500.00		1,434.00	_			年度				١
	対前年比			_		95.60%	_									
		コーストー					円	円		円						
		単位当たりコスト① 単位 計画値			L -1 L		円	円	_	円						4
活				甲位								左曲				
動		対 前 年 比		実績値	_			_			年度					
• 結			<u> </u>	<u>ا</u>			円	円		円						
果			たりコス				円	円	_	円						
果指標				単位	1 計画値											
示					実績値				_			年度				
,		対	前年上	t		_			_							
アウト		⊐	ス	۲			円	円		円						
プット		単位当	たりコス	_			円	円	_	円						
				単位												
				334 /-L	実績値				_			年度				
				単位	計画値				_			年度				
					大順胆						+			備考		
加加		指	標名			24年度		25年度	26年	度	(目標	票値 年度)	(指標の	計算方法、	算式等)	
成果指				単位												
指標				334 L1	実績値				_			年度				_
/示 /***********************************				単位					_			左空				
マウト					実績値				_			年度				

	事務事業の評価	Ш (С	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	美土里協育集会所は近隣に地区集会所がないため、人権会館と
	市民のニーズが適正に反映されている	0	しての位置づけとともに、地区集会所としても利活用が行われ
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	準基幹集会所については、同和地区にある地域のコミュニティ
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	施設としての利用がされており、建設された事業の経過から市
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	の人としての尊厳を守るため私有地に墓地を整備してきたとい
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	う経緯があり市が管理している。
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	×	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	人権啓発及び地域のコミュニティセンターとしての施設の有効
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	活用を図る。事業費の大部分が維持にかかるラニングコストのみとなっている。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	92.00
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	美土里教育集会所は人権会館として位置付けられ、相談事業を
	当初予定した実施項目が達成できた	0	行っている。また、相談事業をはじめ地域の集会や文化活動、 小i人数の研修会場として活用している。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	0,000
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

改善点や今後	後の取り組みの方向性	(Action)							
資源配分の方向性優先的に継続する継続する他事業と統合する休止、廃止	● 縮小して継続 上をする 完了した	続する。 主務課長氏名 野川 栄治							
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題							
課題解決	のための改善内容及び予算	<u>「への反映</u>							
改善項目	予算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容							
1									
2									
3									

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

事務事業の目的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

									_			
事務事業の概要(Plan)												
事務事業名		団体育成事業(吉田)	担当部	部課	吉田人	人権会館	電話	0826				
7107×0			作成者	氏名	中田	義和 (42		(42)2826				
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 28 年 3 月	l	会計名	1	一般会計						
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり	主な	款	3	民生費						
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされる地域社会の創造	関連	項	1	社会福祉費						
(基本計画)		1.人権が人切に合作る地域社会の制造	予算・		7	人権会館費						
体系	施策	推進体制の整備	事業名	大事業	1	人権会館費管理運営費	管理運営費					
	思来	在進体的の発開		中事業	3	吉田人権会館	会館					
対 象	○企業・各種団体・人権啓発団体・相談担当団体。 											
(誰のために)									ら目的妥当性の評価を行っ			
					, _ , .				て下さい。			
目的	〇企業・事業 組み。	業所、各種団体への人権研修情報提供や習	発団体の	支援を	行い、	情報を活用し、啓発行事参加	一や人権	断修の取り				
(対象をどのような		発団体の連携・活動支援により幅の広い	啓発活動を	行う。								
状態にしたいか												
〇広報紙や啓発行事案内を送付して、啓発行事に参加を促すと共に、人権問題に関心を高めてもらう。 〇人権啓発団体構成員(各種団体)の人権意識向上の浸透と、団体による市民啓発活動が有効活発になるよう支援する。												
内 容		3个中央人员1930年19707个1610年1970年	.연 . (일)	+1001	יישלוית		ノス]反	<i>y</i> ⊘ ₀				

				=	事務事業実施	施にな	いかるコス	トと業績	(Do))					
			24	4年度			2	25年度				26年度			
	スト	コスト(千円)	財源	(千円)	コス	ト (千円)	財源	(千円)		コス	ト(千円)	財源	(千円)	
		直接事業費	1,510	国県補助金等	881	直接事業費	1,510	国県補助金等		300	直接事業費	1,420	国県補助金等	287	
イン	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費		受益者負担		人件費		受益者負担			人件費		受益者負担		
		合計	1,928	一般財源等	1,047	合計	1,910		1,610		合計	,	一般財源等	1,533	
	更人員		0.05		人		0.05			스		0.05		人	
時间外	勤務手当	5.00			千円		2.00)		千円		2.00		千円	
		指標名等			24年度		25年度	26年	度	今後の記 (計画:			備 考計算方法、		
	人権啓発征		事・研修会案内 単位 計画値		700.00		700.00	600.0	00	600.	.00	人権啓発月間 スタ・講演会			
		数		実績値	550.00		569.00	_	_	H27	年度	祭•他)諸行	事。人権調	講座・研修 ┆	
			年 比		-	_	103.45%	_				会等(人権大 の案内	学・男女芸	共同参画他)	
		コ ス 単位当たり		\		円	150,000 円		円			OXP)			
		単位当にり		位計画値	181.82	円	263.62 円	_	円	円					
活			*	実績値							年度				
動		対 前:	年 比	人顺尼	_			_		-	一人				
結		コス				円	円		円					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
果指		単位当たり	コスト②)		円	円	_	円						
指標		単位		位 計画値											
1237				実績値				_			年度				
/\		対 前	年 比		_			_							
アウト		コス				円	円		円						
プット	_	単位当たり				円	円	_	円						
			単	位 計画値 実績値				_			年度				
			単	付 計画値				_			十反				
			+	実績値				_			年度				
Et;		指標	名		24年度		25年度	26年	度	目標	年度)		備 考計算方法、		
成果指	啓発団体	自主研修参加	加茲	位計画値	60.00		60.00	60.00)	60.0		町民会議団体参加数/会員			
指標		ニエットックル	9		41.00		51.94	_		H27	年度	୭≒₩ 女	マ女X (4U /	11)	
標 ,			単	位計画値											
アウト				実績値				_			年度				
<i>ከ</i> Δ		指標化でき	ない成果	1											

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」ならO、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 ○ ○ ○ ○ ○ 企業・事業所、各種団体で人権意識向上・浸透を図ることを 市民のニーズを的確に把握している 目的とした啓発団体を組織し、会員を対象とした研修会の開催 市民のニーズが適正に反映されている 0 や団体主催の催しを開催している。 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である ○事務的補助や会員への人権啓発情報の提供を行っている。 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 0 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 性 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 0 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ○毎年事業計画を策定時に、効率的で効果的な事業を検討して 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 0 単位あたりコストを削減することはできない X 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している ○人権啓発団体は町内の事業所や各種団体で構成されているこ \bigcirc とから、市民以外への啓発を行うための重要な組織である。 0 当初予定した実施項目が達成できた 〇研修会への参加も定着してきているが。 成果指標について当初設定した計画値が達成できた X 〇一方、研修会参加者が固定化しつつあるため、研修会の内容 等を工夫していく必要がある。 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 0 目標年度に目標を達成できそうである 目的が達成できるような事務事業の内容である 性 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 職員の能力開発のための対策は十分になされている ○事業計画時に構成員から意見を聴いている。 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている \bigcirc ○啓発冊子の配布や講演会等の開催案内をしている。 市民への情報提供を行っている 0 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 0 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

資源配分の方向性優先的に継続する継続する縮小して継続する主務課長氏名野川 栄治他事業と統合する今年度までに実施した改善内容完了した解決できていない課題	
〇研修会で、企業や団体にとって有益で、活用しやすいテーマを取 り上げている。	
課題解決のための改善内容及び予算への反映	
改善項目 予算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容	
3	

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名		団体育成事業(八日	=代)	担当部		八千位	代人権福祉センター 義輝	電話	0826 (52)7500		
実施期間	平成 16	平成 16 年 3 月 ~ 平成 27 年 3 月 会計名 1 一般会計									
	基本方針	基本方針 III 人と環境にやさしいまちづくり 主な 款 3 民生費									
総合計画	主要施策	 1.人権が大切にされる	地域社会の創造	関連	項	1	社会福祉費				
(基本計画)	工女肥米	1.八種が入りに合わる	地域社会の制造	予算・ 事業名	目	7	人権会館費				
体系	施策		尹未石	大事業	1	人権会館運営費		事務事業の			
	,,,,	中事業 4 八千代人権福祉センター									
各種市民団体 対象 (誰のために)											
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	10日上で図り、回体の占到ル市別占先になるより光める。 1 <mark>5な</mark>										
〇心耕祭(12月)における各種団体との協力及び参加一町内各学校、人権擁護委員、市民会議八千代町支部 内 容											

																」
					=	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
				24	年度			25	5年度				26	6年度		事業単位当たり
⊐	スト	コスト	(千円)	財源	(千円)	;	スト(千円)	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費		86	国県補助金等	272	直接事業	70	国県補助金等		272	直接事業費	74	国県補助金等	27	2 意しながら効率性の評価を行っ
	プット	人件費	8	828	受益者負担		人件	費 796	受益者負担			人件費	796	受益者負担		て下さい。
		合計		914	一般財源等	642	合計	† 866	一般財源等		594	合計	870	一般財源等	59	8
	要人員			0.10		人		0.10)		人		0.10		人	—
時間外	勤務手当		(0.70		千円	L				千円				千户	1 "
		指標	票 名:	等		24年度		25年度	26年	安		計画値存度)	(指標の記	備 考計算方法、	算式等)	
	団体代表	考との連	終同数	単位	立 計画値	15.00		15.00	15.00)	15.	.00	町内各種団体			事務事業の目
	四件1/12	G C V)Æ			実績値	15.00		20.00	_		H27	年度	(行事の開催) 頼、発表者排	采凶、标画 生薦依頼等	音矩亚仪 {)	的やその数値 目標である成
		対 前		比		_		133.33%	_							果指標などに
			ス	 		190,000	円	200,000 円		円						留意しながら
	Ė	単位当た	こりコス	_		12,666.67	円	10,000.00 円	_	円			<i>\f</i> =±#=T\32 →	X T E A L	+ 1 1 10 5	有効性の評価 を行って下さ
活	会調	義開催回義	数	単位		1.00		3.00	3.00		3.0		人権標語選引 生児童委員员	5変貝会に 19例会、2	「もとより氏 氏クラブ症	5 I ,
動		11 3	<i>-</i> -		実績値	1.00		10.00			H27	年 及	例会、振興会	会議など	を実施。会	À
۰ 4+		対前		比		15,000	m	1000.00%	_				議の中で講演]・標語の原	N M
結 果		以	ス Eりコス	<u>۱</u>		15,000		20,000 円	_	円円			FINASTI).	٥١٥		
結果指標		単位ヨバ	ンリコス	単位	☆ 計画値	15,000.00	円	2,000.00 円	_	円						4
標				712	実績値							年度				
		対 前	5 年 〕	比	NIA!E	_			_			7/2				
アウト			<u>, , , ,</u> ス	<u> </u>			円	円		円						
プット	<u>i</u>	単位当た	こりコス	<u>-</u>			円	円	_	円						
\/				単位	立計画値											1
					実績値				_			年度				
				単位	立計画値											
					実績値				_			年度				
ct:		指	標名			24年度		25年度	26年	芰	目標	票値 年度)	(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)	
成果				単位	立 計画値											
果指標					実績値				_			年度				
				単位	立計画値											
アウト					実績値				_			年度				
٨٨	4	指標化で	ごきない	成果												_

	事務事業の評価	価 (C	heck)
١	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら○、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は− 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	人権施策を推進する上で各種団体との連絡、調整、協議は不可
	市民のニーズが適正に反映されている	0	↑欠である。 ♪そのことを通じて各団体を構成する方々にも人権意識が定着し
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	ていくものと考える。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている		
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である		
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	×	
	単位あたりコストを削減することはできない	_	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	
	当初予定した実施項目が達成できた	0	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	×	
有 効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	_	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市民	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

	改善点や今後の取り組みの方向性(Action)												
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		る	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治							
₹.	今年度までに実施した改善	善内容	解決できていない課題										
		課題解決のため	かのご	は善内容及び予算への反	映								
	改善項目		予	算(大事業)名	改	善により予算要求額変更内容							
1													
2													
3													

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名		宮)			担当部課 たかみや人権会館 作成者氏名 八島芳樹			電話	0826 (57)1330		
実施期間	昭和 61	年 4 月 ~	27	3)	∃	会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしん	ほちづく	くり	主な	款	3	民生費			
総合計画	主要施策	1人歩が大切にされる	.人権が大切にされる地域社会の創造					社会福祉費			
(基本計画)	土女心尔	1.人権が入りに合わる	りIEI製作工工	こり別と	予算・ 事業名		7	人権会館費			
体系	施策	推進体制の整備					1	人権会館運営費			事務事業
	虎 农	在進体前の発掘				中事業	5		的、対象		
世界人権宣言高宮実行委員会(構成機関:28団体) 対 象 (誰のために)											
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	をどのような (30)										
内 容 1 2月の人権週間に大会を開催し人権意識の高揚を図る。											

						5775 54 65		りかフラフ	」 ト 业 (本		`					
					Ę	事務事業実施	他にん	かかるコス	トと業績	(Do)				<u> </u>	
				24	l年度			2	5年度				26	事業単位当たり		
	スト	コスト	、(千円])	財源	(千円)	コス	、卜 (千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費		120	国県補助金等	391	直接事業費	120	国県補助金等		364	直接事業費	120	国県補助金等	367	意しながら効率 性の評価を行っ
イン	/フ [°] ット	人件費		425	受益者負担		人件費	408	受益者負担			人件費	388	受益者負担		て下さい。
		合計			一般財源等	154	合計		一般財源等		164	合計	508		141	
	要人員			0.05		人		0.05			人		0.05	5	人	l V
時間外	勤務手当		1	11.00)	千円		10.0	0		千円				千円	"
		指標	票 名	等		24年度		25年度	26年	安	今後の記念			備 考計算方法、		
	人梅謙	座の参加	字数	単位	立計画値	100.00		100.00	100.0	0	100.	.00	世界人権宣言	言記念大会	の開催、参	事務事業の目
	ノベイモの円	エッジル		人	実績値	70.00		70.00	_		H27	年度	加人数			的やその数値 目標である成
		対 前		比		_		100.00%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>		497,592	円	503,882 円		円						留意しながら
	!	単位当た	こりコス			7,108.46	円	7,198.31 円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活				単位												6).
動			4 F	114	実績値				_			年度				
• %±		対 <u>前</u> コ	が年 ス	比 ト		_	円	円	_	円						V
結果		<u>」</u> 単位当た					円	円	_	円						
果指		半世当人	-りコス	単位	立計画値		[]	[]								
標				— I.	実績値				_			年度				
		対前	1 年	比	- 1,51.	_			_			12				
アウト			ス	-			円	円		円						
プット		単位当た	こりコス	.1-3			円	円	_	円						
\/				単位	立 計画値											
					実績値				_			年度				
				単位	立計画値											
					実績値				_			年度				
ct;		指	標名	i		24年度		25年度	26年	芰	目標		(指標の語	備 考 計算方法、	算式等)	
成果指	=#	座参加率	3	単位		100.00		100.00	100.00)	100	.00	参加人数/訂	計画人数		
指	0円	ルエシルキ	_	%	実績値	70.00		70.00	_		H27	年度				
標				単位												
アウト					実績値				_			年度				
力厶		指標化で	ごきない	成果												

Г	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
r r	市民のニーズを的確に把握している	0	地域改善事業(隣保館運営事業)に基づいて事業実施。
₹	市民のニーズが適正に反映されている	0	団体の育成は、人権啓発推進を進めていくうえで、重要な役割 を持っている。連携していくことで、「人輝く 安芸高田」に
EN.	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	_	近づくように努力する。
禾	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
ft	也の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
什	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている		
	(
夫	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	人権意識向上のために団体育成。
=	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	啓発の推進のためには、団体との連携は必要不可欠であり、連 携することで、お互い助け合い、効果的な事業効果が生まれ
交	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	る。
効化	也の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率化	也の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
兰	単位あたりコストを削減することはできない	0	
3	受益者負担を検証している	0	
	(
Idilli	事務事業の効果を適正に把握している	0	毎年の事業報告内容の確認と検討。
=	当初予定した実施項目が達成できた	×	文芸賞の公募数が減少している。また、内容的にも過去と比較 して、反省点が多い。しかし、今年度は、前年度に比較して内
Fi.	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	×	容的に評価が高く、これをステップに来年度も取り組みたい。
原	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	×	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	×	
性性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
di	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
草	専門性をもった人材を活用できている	0	
用	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
早	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
	市民への情報提供を行っている	0	
一	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

		改善点や今	後の取り	組みの方向性(Act							
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	. 	とをする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治					
4	今年度までに実施した改	善内容		解決できていない課題							
		課題解決	のための改	善内容及び予算への反	映						
	改善項目		予	ジ算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容							
1											
2											
3											

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

て下さい。

事務事業の目的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名		団体育成事業(甲田)	担当部		甲田	人権会館	電話	0826 (45)4922			
実施期間	昭和 58	年 7 月 ~ 平成 27 年 3 月		会計名	1	一般会計		(10) 1022			
	基本方針 Ⅲ人と環境にやさしいまちづくり 款 3 民生費										
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされる地域社会の創造	関連	項	1	社会福祉費					
(基本計画)	工女肥米	1.八権が入場に合いる地域社会の制造	予算・ 事業名	目	7	人権会館費					
体系	施策	推進体制の整備	尹未行	大事業	1	人権会館管理運営費		事務事業の			
事業所・各種団体・人権啓発団体 対象 (誰のために)											
	した。 いような 団体の事業誘致を行い館利用の促進を図る。										
内 容											

					_	18変重業宝	施に	かかるコス	トと業績	(Do	.)				
						产奶 学未大!	ےا ٹار	77.007							
				24					5年度					6年度	
	スト		~ (千円)	_		(千円)		スト(千円)		(千円)			ト (千円)		(千円)
		直接事業費			県補助金等	717	直接事業		国県補助金等		717	直接事業費		国県補助金等	755 —
イン	/プット	人件費		_	益者負担	4.450	人件	·	受益者負担		4.054	人件費		受益者負担	1.100
ılva	F 1 0	合計	,-		-般財源等	1,159	合計	,	7			合計	1,855	一般財源等	1,100
	要人員 勤務手当			2.00		人 千円		9.00			へ 千円				人 千円
可同次	到份士士	<mark>勞手当 22.00</mark>				TH		9.00	,			=1=#		# *	Tra
	指標名等				24年度		25年度	26年度 今後6(計画		今後の(計画			備 考計算方法、		
	団体構成的		発行事参	単位	計画値	150.00		150.00	150.00		150	.00	人権講演会、 776人×2		、参加人数
		加人数		人	実績値	133.00		155.00	_		H27	年度	110//^2	20%	
		対 育				_		116.54%	_						
			ス	<u> </u>		1,339,089	円	1,232,600 円		円					
		単位当だ	こりコス			10,068.34	円	7,952.26 円	_	円			上午井冶入	+ /= =# m	*** O O L \
活	事案内数		単位		250.00		250.00	250.0	0	250		人権講演会、 8回=23		きょる人× だより33	
動			部	実績値	297.00		330.00	_	H27		年度	人×2回=6			
• 結		<u>対</u> i	リーレ ス	<u>ار</u> ا		552,900	円	111.11% 535,400 円	_	円					
果			<u> </u>			1,861.62	1.4	1,622.42 円	_	円 円					
果指		∓₩ ⊐ /	とりコスト	単位	計画値	1,001.02	11	1,022.42		1 1					
標				+12	実績値				_			年度			
		対 前	f 年 b	七		_			_						
アウト			ス	<u>-</u>			円	円		円					
プット		単位当た	こりコス	K 3			円	円	_	円					
\/				単位	計画値										
					実績値				_			年度			
				単位	計画値										
					実績値				_			年度			
ΕÜ		指	標名			24年度		25年度	26年	度	目標		(指標の語	備 考計算方法、	算式等)
成果指	人権啓発団体参加率		まかる	単位	計画値	60.00		60.00	60.00)	60.	00	世界人権宣		
指	八作	75世世岁	ンソローナー	%	実績値	54.50		54.50	_		H27	年度	加団体数18		
·····································	人権啓発	団体利用	目団体数	単位		5.00		5.00	5.00		5.0	00	人権関係団体	本館利用団	体数
アウト	団体 実績値				6.00								+ +		
カム 指標化できない成果								は任意加入なが広がるようエ							を依頼した

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 ○ 人権啓発関係団体の加入構成員は任意なので活動を支援する必 市民のニーズを的確に把握している 要がある。 市民のニーズが適正に反映されている 0 構成員の個人力・組織力を活用することで広く啓発活動を行う 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である ことができる。 団体と行政が連携することで市民啓発の効果が期待できる。 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 0 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 0 他の事務事業と統合できない事務事業である 0 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 団体補助金の効率的活用を行うため、団体と共同事業を開催す 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である X 人権啓発行事の情報を提供する。 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 0 0 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない \times 単位あたりコストを削減することはできない X 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している 各種団体と連携して事業を推進することは人権啓発の有効性を 0 高め、構成員の自己啓発とし効果が高い。 0 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた X 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 0 X 目標年度に目標を達成できそうである 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 0 専門性をもった人材を活用できている 職員の能力開発のための対策は十分になされている 人権啓発事業について、人権団体・NPO法人・世界人権宣言 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 甲田町実行委員会と連携・協議を行っている。 市民への情報提供を行っている 0 講演会等において、参加者アンケートを回収し事業計画に反映 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 0 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

		改善点や今後	後の取り:	組みの方向性(Ac	tion)						
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	. 	をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治					
2	今年度までに実施した改	善内容		解決できていない課題							
		課題解決		善内容及び予算への反	映						
	改善項目		予算	算(大事業)名	강	対善により予算要求額変更内容					
1											
2											
3											

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

事務事業の目 的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

				事務事業	色	概要(Pla	an)					
事務事業名			総合相談事業(吉E	⊞)		担当的		古田、中田	人 <mark>権会館</mark> 義和	電話	0826 (42)2826	
実施期間	平成 1	16	年 3 月 ~ 平成	28 年 3	月		会計名	1	一般会計			1
	基本方	針	Ⅲ人と環境にやさしい	まちづくり		主な	款	3	民生費			
総合計画	主要施	笙	1.人権が大切にされる	出ばせ合の含	生	関連	項	1	社会福祉費			
(基本計画)	工女/池!	來	1.人権が人別に合わる	心球社会の高	但	予算・ 事業名		7	人権会館費			
体系	施	策 :	推進体制の整備			争未行	大事業	1	人権会館管理運営費			事務事業の
	ne s	₹ :	住廷体制の発用				中事業	3	吉田人権会館			的、対象、
対 象 (誰のために)	○悩みを	きもつ	市民。									容を考えなら目的妥当の評価を行て下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	○相談し す。	かす	い各種相談会の実施と	、相談担当者	香の資	賢自上研	修を行	ハ、相	談の適正指導を行うことで、	早期解	決を目指	
内容	○悩みを	持つ	市民に、専門の相談員	複数により定	2期総	合相談を	開催し、	専門	性を発揮して助言や、悩みを	を取り除	₹<。	

												_		
				=	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)				
			241	丰度			2	5年度				26	6年度	
	スト	コスト(千円))	財源	(千円)	□ ;	スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)
		直接事業費 2,5	595 =	県補助金等	1,758	直接事業	業費 2,588	国県補助金等		1,866	直接事業費	2,618	国県補助金等	1,765
ん	/フ [°] ット	<mark>人件費</mark> 1,2	254 受	益者負担		人件	費 1,202	受益者負担			人件費	1,202	受益者負担	
********		合計 3,8	349 –	-般財源等	2,091	合語	3,790	一般財源等		1,924	合計	3,820	一般財源等	2,055
必要	要人員		0.15		人		0.15			人		0.15		人
時間外	勤務手当	1-	4.00		千円	L	7.00)		千円		7.00)	千円
		指標名	等		24年度		25年度	26年	度		計画値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)
	://int	目談受付件数	単位	計画値	350.00		350.00	350.0	0	350	.00	人権相談員(の訪問等相	談受付件
	巡凹1	日政文171千数	件	実績値	291.00		439.00	_		H27	年度	数。		
		対 前 年上	七		ı		150.86%	1						
		コス		1,640,000	円	1,595,000 円		円						
		単位当たりコス	h ①		5,635.74	円	3,633.26 円	_	円					
活	総合相	談会受付件数	単位	計画値	30.00		30.00	30.00)	30.	00	月二回、民会 委員・人権!	生児童委員 ※継承号・	• 行政相談
動	11/61		件	実績値	17.00		36.00	_		H27	年度	安良・人権がで総合相談会		八惟怡畝貝
•		対 前 年上	七		_		211.76%	_						
結		コス	<u> </u>		745,000	1.4	738,000 円		円					
果指		単位当たりコス		_	43,823.53	円	20,500.00 円	一 円				/// A 10=1/ A =		B = B + = C
標	相談員研	修への参加者数	単位		60.00		70.00	70.00)	70.		総合相談会る属機関を中心		
		11 26 F 1	人	実績値	70.00		75.00	_		H27	年度	開催。会員:		
(七		-		107.14%	_				(延べ)		
アウトフット		コス	<u> </u>		504,000		497,000 円		円					
		単位当たりコス	単位	計画値	7,200.00	円	6,626.67 円	_	円					
			里1世	実績値				_			年度			
			単位								4-反			
			半世	実績値				_			年度			
				大順但									備考	
成		指標名			24年度		25年度	26年	_	(目標			計算方法、	
果	研修	多会参加率	単位		80.00		80.00	80.00)	80.		相談協研修会		
指標			%	実績値	79.17		76.10	-	,		年度	昌数46(延	(\n')	
/示 	相談3	全体受付件数	単位	0. —.—	300.00		300.00	300.0	U	300		巡回 • 相談:	はいら計数	(ه
アウト			件	実績値	308.00		475.00	_		H27	年度			
加		指標化できない	或果											

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」ならO、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 市民のニーズを的確に把握している ○ ○ ○進行する高齢化や不安定就労者の増加という社会状況のな か、市民が日常生活で抱えている不安や問題も多く、相談内容 市民のニーズが適正に反映されている 0 も多岐にわたっている。 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である ○誰もが安心して生活するためには、相談事業はますます重要 なものとなる。 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 0 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 0 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ○専門性の増す行政・関係機関と地域や市民をつなぐパイプ役 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 をする総合窓口となっている。 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 ○行政の各部門や関係機関との連携・ネットワークづくりが必 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 要である。 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 0 X 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 0 単位あたりコストを削減することはできない 0 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している ○総合相談会では、民生児童委員・行政相談委員・人権擁護委 \bigcirc 員・人権相談員が相談にあたっており、それぞれ専門の分野の 0 当初予定した実施項目が達成できた 知識や情報を有効に活用できている。 X 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 〇相談員は、相談者が相談しやすい応対を心がけている。 〇研修会を開催するなど、相談員の資質向上に向けた取り組み 0 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した を続ける。 目標年度に目標を達成できそうである 目的が達成できるような事務事業の内容である \times 性 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 0 職員の能力開発のための対策は十分になされている X ○相談会の開催について、広報紙やお太助フォンにより情報提 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 供している。 市民への情報提供を行っている 0 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

改善点や今	後の取り組みの方向性(Ac	tion)
資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃		• 主務課長氏名 野川 栄治
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題
○相談員協議会を結成し、相談業務に必要な知識の習得やしての資質向上に向けた研修会を開催している。	が相談員と ○相談案件を共有する る。	ための関係機関とのネットワークづくりを進め
課題解決	中のための改善内容及び予算への反	映
改善項目	予算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容
1		
2		
3		

										ı	
			事務事業の)概要(Pl	an)						
事務事業名		総合相談事業(八千	-代)	担当部	部課	八千	代人権福祉センター	電話	0826		
子奶子木口			1 1/2	作成者	氏名	道沖	義輝	400	(52)7500		
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	27 年 3	月	会計名	1	一般会計				
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしい	まちづくり	主な	款	3	民生費				
総合計画	主要施策	 1.人権が大切にされる	地域社会の創造	関連	項	1	社会福祉費			İ	
(基本計画)		1.八権の人動にとれる	地域性五少制造	予算・事業名		7	人権会館費			ı	
体系	施策	推進体制の整備		尹未行	大事業	1	人権会館運営費			loi	事務
	池米				中事業	4	八千代人権福祉センター				到。 的、
対 象	悩みを持つ	市民・相談を受ける担当	诸								容を らE
刈 (誰のために)											つE の評
	15-14. · 1		10-1110 11-4			. 		1	_ 545 +	ľ	7
目 的	相談しやすり		相談担当者の資	質向上を行	ない、	相談内	1容に対して適正な指導を行な	えうこと	で、悩み事	Ļ	
(対象をどのような 状態にしたいか)	○J 	C - 10 9 °								İ	
水窓にひたいが	O = A + 1 ****						**************************************			ĺ	
	○米郎が難	しい市民に対して出向い	16の対心や、米	:	XJ U C	碱負力	'刈心 g る。				
内 容											

																•
																ı \
						事務事業実施	施にた	いかるコス	トと業績	(Do	0)					
				24	年度			2	5年度				26	6年度		事業単位当たり
	スト	コスト	~ (千円)	財源	(千円)	コス	ト (千円)	財源(千円)	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	1,0	023	国県補助金等	622	直接事業費	1,050	国県補助金等		622	直接事業費	1,120	国県補助金等	622	意しながら効率 性の評価を行っ
	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費	1,0	657	受益者負担		人件費	1,593	受益者負担			人件費	1,593	受益者負担		て下さい。
********		合計	2,0	680 -	一般財源等	2,058	合計	2,643	一般財源等		2,021	合計	2,713	一般財源等	2,091	
必要	更人員		(0.20		人		0.20)		人		0.20)	人	\ \
時間外	勤務手当			1.30		千円					千円				千円	, I
		指標	票名	等		24年度		25年度	26年度	Ę	今後の (計画		(指標の語	備 考 計算方法、	算式等)	
	5	《回相談		単位	対計画値	100.00		100.00	100.00		100.	.00	指導員による	5訪問相談	回数。	事務事業の目
	۱,	…凹作畝		件	実績値	87.00		80.00	_		H27	年度				的やその数値
		対 前	1年	比		_		91.95%	_							目標である成 果指標などに
			ス	7		500,000	円	500,000 円		円						留意しながら
		単位当だ	こりコス	h (1)		5,747.13	円	6,250.00 円	-	円						有効性の評価 を行って下さ
汪		一般相談		単位	計画値	150.00		150.00	150.00							W.
活動		NU TO UK		件	実績値	135.00		165.00	_		H27	年度				
•		対 前		比		_		122.22%	_							V .
結			ス	<u> </u>		500,000		500,000 円		円						
果指		単位当だ	こりコス	_		3,703.70	円	3,030.30 円	_	円						
標				単位												
			- -	114	実績値							年度				
(TT)		対前	① 年 . ス	比			ш	m	_	m						
アウトフット		当	<u> </u>	ト			円円	円円		円円						
		半世出た	こりコス	単作	5 計画値		门	円	_	门						ł
				丰匠	実績値							年度				
				単化								十/又				1
				712	実績値				_			年度				
		指	標名	<u> </u>	J Cilytic	24年度		25年度	26年度	Ę	目標	標値	(指標の語	備考計算方法、	算式等)	
成				単化	対 計画値	100.00		100.00	100.00		100	.00	(相談総数-			1
果指	相	談対処率	<u>X</u>	%		100.00		100.00	_		H27		談総数			
標				単位				-								1
					実績値				_			年度				
アウトカム	:	指標化で	できない。	成果		相談を受けて、 前で県(消費: ど、当館に対	者センタ		(法務局等)	こ相談						

チェック項目		事務事業の評価		I IECK)
市民のニースが適正に反映されている	[チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
中民のニースが適比し反映されている		市民のニーズを的確に把握している	0	
利用者、対象者の増減に迅速に対応できている		市民のニーズが適正に反映されている	0	同札尚越に刈りる止しい認識と埋解か必要。
■ 物・・		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
作以外が実施主体になりえない事務事業である	妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
他の事務事業と統合できない事務事業である	当	国や県と重複のない事務事業である	0	
社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている		他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
(社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
カストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である カストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 中の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 中の団体等を活用してもメリットが大きくならない 八件費を削減しても、コストを削減することはできない 英雄者負担を検証している ウェード 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大		(
カストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	
効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 一 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 〇 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 〇 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ※ 受益者負担を検証している ※ () 事務事業の効果を適正に把握している ※ 成果指標について当初設定した計画値が達成できた成果指標について当初設定した計画値が達成できた成果指標の実績値が前年度と比較して向上した目標年度に目標を達成できそうである 一 目録が達成できるような事務事業の内容である 一 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 専門性をもった人材を活用できている 職員の能力開発のための対策は十分になされている () ○ 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 下民への情報提供を行っている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている () ○		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	
他の団体等を活用してもメリットが大きくならない		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	めた、民所自即省との産派を出たとる。
車性 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 〇 人件費を削減しても、コストを削減することはできない × 単位あたりコストを削減することはできない × 受益者負担を検証している × () 事務事業の効果を適正に把握している × 当初予定した実施項目が達成できた × 成果指標について当初設定した計画値が達成できた ○ 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した ー 目標年度に目標を達成できそうである ー 目的が達成できるような事務事業の内容である ー 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ー 専門性をもった人材を活用できている ○ 職員の能力開発のための対策は十分になされている ○ () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ○ 古まざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○	办	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
A	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
要益者負担を検証している × () 事務事業の効果を適正に把握している ○ 当初予定した実施項目が達成できた × 成果指標について当初設定した計画値が達成できた ○ 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 一 目標年度に目標を達成できそうである 一 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている ○ 成員の能力開発のための対策は十分になされている ○ 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ○ 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
事務事業の効果を適正に把握している		単位あたりコストを削減することはできない	X	
当初予定した実施項目が達成できた		受益者負担を検証している	X	
当初予定した実施項目が達成できた		(
当初予定した実施項目が達成できた X 成果指標について当初設定した計画値が達成できた O 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した — 目標年度に目標を達成できそうである — 目的が達成できるような事務事業の内容である — 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている — 専門性をもった人材を活用できている O 職員の能力開発のための対策は十分になされている — 「) 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている X 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○		事務事業の効果を適正に把握している	0	
成果指標について当初設定した計画値が達成できた 〇 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した — 目標年度に目標を達成できそうである — 目的が達成できるような事務事業の内容である — 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている — 専門性をもった人材を活用できている 〇 職員の能力開発のための対策は十分になされている — () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○		当初予定した実施項目が達成できた	X	
有効性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
効性 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている 〇 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
性 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている 〇 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○	有	目標年度に目標を達成できそうである	_	
専門性をもった人材を活用できている 〇 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている 〇 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 〇		目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
() 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている O さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている O		専門性をもった人材を活用できている	0	
事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている × 市民への情報提供を行っている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○		職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
市民への情報提供を行っている O さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている O		(
大 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	
参しているなる場面では内に対して多加の機会が提供されている		市民への情報提供を行っている	0	
	氏参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
		市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
		(

	改善点や今後の取り	組みの方向性(Act	tion)	
資源配分の方向性 優先的に継続する 地事業と統合する		縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治
今年度までに実施した改善	善内容		解決できている	ない課題
	課題解決のための記	改善内容及び予算への反	· • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
改善項目	ਤੋਂ	算(大事業)名	改善に	より予算要求額変更内容
1				
2				
3				

			事務	务事業 <i>0</i>	の概	要(Pla	an)					
事務事業名		総合相談事業(高	高宮)		-	担当部		たかる	みや人権会館	電話	0826 (57) 1330	
実施期間	昭和 61	年 4 月 ~	27	3	月	11700	会計名	1	一般会計		, ,	
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさし	いまちづ	くり		主な	款	3	民生費			
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされ	るままま	全の創造	±	関連	項	1	社会福祉費			
(基本計画)	工女肥米	1.八個分外如に合作	O TRISKET.		_	予算・ 事業名	Ħ	7	人権会館費			
体系	施策	推進体制の整備				尹未石	大事業	1	人権会館運営費			事務事
							中事業	5	たかみや人権会館			的、文
対象(誰のために)		図みを持つ市民 て、それの解決方法の	助言や悩	みを取り	7除<	<						容を考ら目的の評価で下さ
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		対して、生活上の相談					切な助	言指導	を行う。			
内 容	職員•相談	員の資質向上のための	各種研修	(相談)	員連絡	絡会)						

				三	事務事業実施	布にナ	いかるコス	トと業績	(Do)					
				-		ر حا تا				,,					
			-	年度				5年度					6年度		事業単位当たり
	スト	コスト(千円)			(千円)		ト (千円)	財源(千円			ト (千円)		(千円)	コストなどに留 意しながら効率
,		· ·		県補助金等	2,348			国県補助金等		2,183	直接事業費	'	国県補助金等	2,205	性の評価を行っ
イン	/プ [°] ット			受益者負担		人件費		受益者負担			人件費	,	受益者負担		て下さい。
				一般財源等	3,190	合計		一般財源等		3,280	合計	5,500	一般財源等	3,295	
	要人員		0.30		人		0.30			人				人	l V
時間外	勤務手当	6	8.00		千円		60.0	0		千円				千円	"
		指標名	等		24年度		25年度	26年度	ŧ	今後の (計画	計画値	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	/// (A)	相談世帯数	単位	計画値	50.00		50.00	50.00		50.	.00	巡回対象地域	或戸数		事務事業の目
	اللا	但成也市级	戸	実績値	48.00		48.00	_		H27	年度				的やその数値
		対 前 年 」	比		_		100.00%	-							目標である成 果指標などに
		コス	7		1,190,256	円 1	,186,264 円		円						留意しながら
	<u>i</u>	単位当たりコス	h (1)		24,797.00	円 2	24,713.83 円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
汪	— #	9.相談件数	単位	計画値	350.00		350.00	350.00		350	.00		動を通じて	て行う相談件	W.
活動	79		件	実績値	361.00		234.00	_		H27	年度	数			
•		対 前 年 」	比		_		64.82%	_							y
結		コス	1		3,829,967	円 3	3,817,991 円		円						
果指	<u> </u>	単位当たりコス	 2		10,609.33	円 1	6,316.20 円	_	円						
標	相談	員研修回数	単位	計画値	15.00		15.00	15.00		15.	-	相談員連絡		B中国ブロット R館連絡協議	
				実績値	15.00		14.00			H27	年度	会研修会	ДШЖМИ		
/\		対 前 年 」			_		93.33%	_							
アウト		コス	<u> </u>		278,600	1 4	280,500 円		円						
プット	<u> </u>	単位当たりコス			18,573.33	円 2	20,035.71 円	_	円	2.1		年日生0 2	ᅉᄼᄱᆒᇊ	7.1 E Ø2 C +0	
	相談事業	僕(延長窓口)	単位		24.00	\perp	24.00	24.00		24.		毎月第2・9 談日、事前®		∃延長窓口相 ∈施	
			件	実績値	0.00	-	0.00			H27	年度		,,	=	
			単位								左曲				
			l	実績値							年度				
ь¢		指標名			24年度		25年度	26年度	Ę	目標 (目標	票値 年度)		備考 計算方法、		
成果指		対処率	単位	- 0: -:-	100.00		100.00	100.00		100		(相談総数- 談総数	-長期相談	以件数) /相	
指揮			%		99.40		99.40	_		H27	年度	人中心			
·····································			単位	0.1		\perp									
アウト				実績値				-			年度				
九人	1	指標化できない	成果												

	事務事業の評	価(C	heck)
١	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	X	地域改善事業(隣保館運営事業)に基づいて事業実施。
	市民のニーズが適正に反映されている	X	相談者が、気楽に来館できる雰囲気づくりが必要。 関係機関や団体との連携を密にする。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	同和問題に対する正しい認識と理解が必要。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	相談内容の多様化に対応するための職員研修が必要。
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥 当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	X	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	X	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	相談内容が多岐にわたっり、長期に取り組む案件もある。
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	コスト削減のため、相談事業を申込み方式に変更した。相談状 況、内容を確認しながら、やり方について、検討する必要あ
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	り。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	相談事業は、件数が多ければよいものではない。 利用するしないは、別として、平日の相談や延長相談により住
	当初予定した実施項目が達成できた	0	利用するしないは、別として、平日の相談や延長相談により任 民側に立つと、選択肢があることはよいことだ。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有 効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市 民	市民への情報提供を行っている	0	
氏 参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

		改善点や今後	後の取り	組みの方向性(Act	tion)	
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	野川 栄治
4	年度までに実施した改	善内容			解決でき	ていない課題
		課題解決0	かための改	善内容及び予算への反	映	
	改善項目		予算	算(大事業)名	也	7善により予算要求額変更内容
1						
2						
3						

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

て下さい。

事務事業の目的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

			事務事業の概	既要(Pla	an)				
事務事業名		総合相談事業(甲	田)	担当部	部課	甲田人	人権会館	電話	0826
子初子未口			ш/	作成者	氏名	玉本賢	賢生	€□□	(45)4922
実施期間	昭和 58	年 7 月 ~ 昭和	27 年 3 月		会計名	1	一般会計		
	基本方針	Ⅲ人と環境にやさしい	まちづくり	主な	款	3	民生費		
総合計画	主要施策	1.人権が大切にされる	地域社会の創造	関連	項	1	社会福祉費		
(基本計画)	工女儿也來	1.八個の人切にとれる	地域性五0/61/2	予算• 事業名	目	7	人権会館費		
体系	施策	推進体制の整備		尹未位	大事業	1	人権会館管理運営費		
	אל טונו א	HEC体的の 上 偏			中事業	6	甲田人権会館		
対 象 (誰のために)	悩みを持つす	市民及び担当者。							
目 的 対象をどのような 状態にしたいか)	各種研修会	訪宅相談を行い、悩みこ こ参加し担当者の資質向		決方法の	助言や	指導を	行うことで早期解決を目指す	Τ.	
内 容	相談しやすい	憩に悩みを持つ市民の来 い館運営と職員・相談員 応じて専門機関、関係機	の資質向上のため	各種研修					

				<u> </u>	事務事業実施	施に	かかるコス	トと業績	(Do					
コスト インプット		24年度					25年度				26年度			
		コスト(千円)		財源	〔千円〕		スト(千円)	財源(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)
		直接事業費	2,449	国県補助金等	1,076	直接事業	2,319	国県補助金等		1,076	直接事業費	2,386	国県補助金等	1,132
		人件費	1,239	受益者負担		人件	費 801	受益者負担			人件費	1,231	受益者負担	
***********		合計 :	3,688	一般財源等	2,612	合計	3,120	一般財源等		2,044	合計	3,617	一般財源等	2,485
必要人員		0.25			人		0.25	人			人			
時間外勤務手当		22.00			千円		5.00	千円 千円					千円	
f	指標名等				24年度		25年度	26年	芰	今後の計画値 (計画年度)		備 考 (指標の計算方法、算式等)		
	地域巡回相談件数		単位 計画値		65.00		65.00	65.00	65.		00	定期的に対象		
			件	実績値	26.00		26.00	_		H27	年度	回訪問する。 ×2回=20	、巡回訪問戸数13戸 3戸	
	対 前 年 比			_	100.00%		-			<u> </u>	<i>3</i>			
	コスト				366,100	366,100 円 298,150 円			円					
	単位当たりコスト①)	14,080.77 ₽		11,467.31 円	_	円					
	一般相談件数		単位	位 計画値	1,000.00		1,000.00	1,000.0	00	1,000.00 H27 年度		電話・訪問・来館相談件数。生活、健康、教育、育児、職業、 営、その他助言指導		
活動			件	実績値	1,371.00		1,577.00	_						1、 脚栗、 袵
•	対 前 年 比				- 115.03%		_				_, _,			
結	コスト				2,870,100 円 2,435,400 円			円					1	
結果指標	単位当たりコスト②)	2,093.44		1,544.32 円	_	円					
	相談	員研修回数	単位		16.00		16.00	14.00		16.	00	指導員・相談 国ブロック研		
1.3.	100%			実績値	18.00		19.00	_	Н	H27	年度	連絡協議会は		、 、 、 権啓発講座
, <u>.</u>		対 前 年 比				- 105.56%		_			1			
アウト	コスト			, ,,		386,850 円								
プット	単位当たりコスト③			25,933.33	円	20,360.53 円	_	円						
			単位											
				実績値				_			年度			
			単位											
				実績値							年度			
成果指標 75%	指標名			24年度			25年度	26年	芰	目標(目標年		備 考 (指標の計算方法、算式等)		
	柜	談対処率	単位		100.00		100.00	100.00)	100.00		(相談件数─長期相談件数) 「談総数		件数)/相
	10	T	%		100.00		100.00	_		H27	年度	度。一些一		
			単位	位 計画値										
				実績値	+7/45 + 10=1/2		+ » c 5 = · · ·	_			年度		27)+	
カム	指標化できない成果				軽微な相談もあるが一人の相談内容が多岐にわたっており解決できることと解決できないこともある。 相談者の悩みを聞いてあげるだけでも「気持ちが楽になった」と相談者は満足される。									

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」ならO、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 ○ 相談者が気軽に来館できる雰囲気づくり。 市民のニーズを的確に把握している 司和問題の科学的認識と理解が必要。 市民のニーズが適正に反映されている 0 地域の相互扶助の関係が崩壊し、近所に相談しにくい、相談で 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である きる人がいないなど、自助解決能力が低下している。 多様な市民生活により、個人的な悩み・心配ごと・苦情など増 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 0 加傾向にある。 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 人権相談員を配置して総合相談を行っている。 0 国や県と重複のない事務事業である 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 0 他の事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 専門機関に相談する件数は減少している。 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 相談者のニーズに応えるには専門的な知識や資格・技術が必 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 相談内容に部落差別が起因している案件もあり、問題を整理し て関係機関と連携して対処する。 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 人権相談員の活動を広げ効率を高める。 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 悩みを聞くだけでも不安を取り除く効果がある。 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない X 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している 0 0 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた X 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 0 0 目標年度に目標を達成できそうである 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 職員の能力開発のための対策は十分になされている 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 人権団体との連携 市民への情報提供を行っている 0 人権擁護委員による特設人権相談所の開設 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 0 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)										
資源配分の方向性	優先的に継続する			縮小して継続する	主務課長氏名	野川 栄治				
	他事業と統合する	休止、廃止	をする	完了した						
₹.	9年度までに実施した改	善内容		解決できていない課題						
課題解決のための改善内容及び予算への反映										
	改善項目		予	算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容						
1										
					+					
2										
					+					
3										